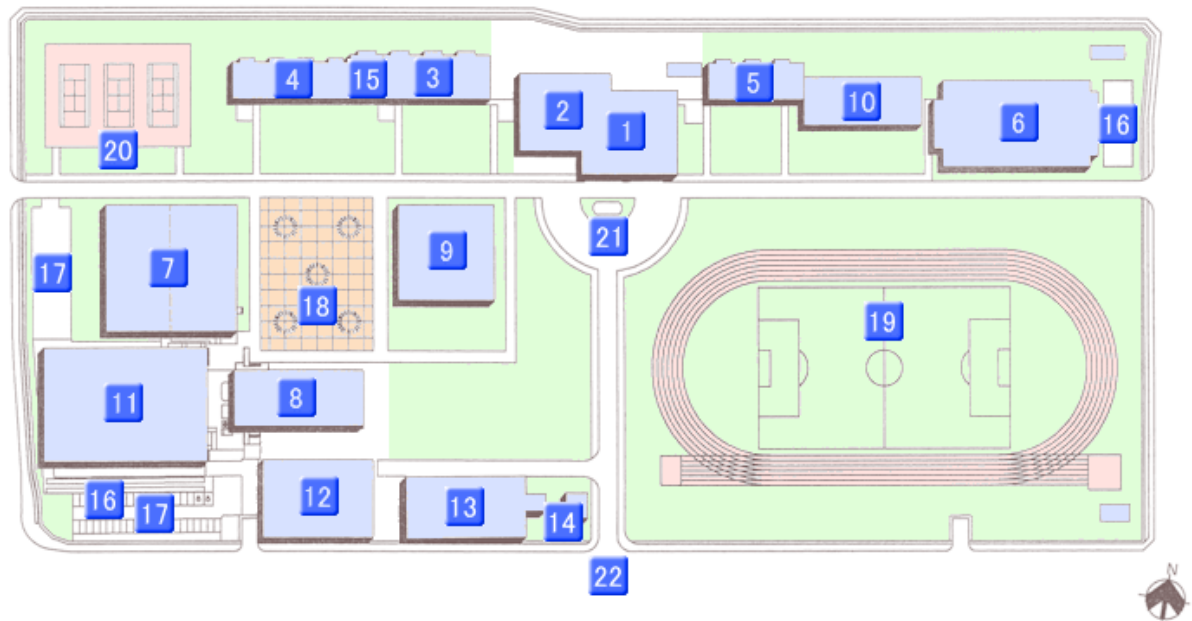


7.1 校地校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境

<施設設備>

本学の校地面積は次図に示すとおり 8,065,228 m²であり、校舎の床面積は 410,600 m²である。校舎等の耐震化率は 100%である。



1	1号館 事務棟	12	12号館 看護学部棟
2	2号館 研究棟	13	13号館 こども学科棟
3	3号館 講義棟	14	守衛室
4	4号館 講義棟	15	学生ホール
5	5号館 特別教室棟・コンピュータ演習室	16	駐輪場
6	6号館 第1体育館	17	駐車場
7	7号館 講義棟・トレーニングセンター	18	プラザ
8	8号館 食堂・売店	19	全天候型グラウンド
9	9号館 図書館	20	テニスコート
10	10号館 武道館・クラブハウス棟	21	噴水
11	11号館 第2体育館	22	正門

図 7.1 本学のキャンパス全体図

- 1) 運動場は、全天候型のウレタン舗装 400mトラック 6レーンとインフィールドに人工芝のサッカー場を備え、トラックの周辺には、棒高跳び、ビーチバレーボール用の砂場等が整備されている。更に夜間でも使用可能なように、4基の照明を設置している。グラウンド内休憩施設を整備し、令和6年4月には人工芝の改修を行った。
- 2) 体育館は第1、第2と二つあり、第1体育館は運動場と武道館・クラブハウス棟（10号館）に、第2体育館はトレーニングルーム等のある7号館にそれぞれ隣

接している。特に、第2体育館は、国際大会に公式使用できるバレーボールコートが2面取れるようになっており、他にゲーム用バレーボール3面、バスケットボール2面、ハンドボール1面、フットサル1面、バドミントン8面が兼用コートとして使用可能である。さらに、第2体育館の玄関ホールには、クライミングウォールが設置され、2階には、器械体操（鉄棒、あん馬やつり輪等）、卓球、ボクシングジムの施設も整備されている。また、人工芝の夜間照明付きテニスコート4面、柔道・剣道専用の武道館がある。令和4年6月に、3,4号館1階4101室に肉体疲労回復や治癒力の向上が期待できる酸素ルームを設置した。

- 3) 学生の課外活動は、体育系が20サークル、文化系が13サークル活動している。本学がスポーツ強化クラブと位置づけている男子バレーボール、女子バレーボール、陸上競技、サッカー、ソフトテニス、テニス、水泳、軟式野球、剣道はとりわけ積極的に活動している。体育系サークルは、第1・第2体育館、7号館トレーニングセンター、全天候型グラウンド、テニスコート、武道館などの施設を利用しており、文化系のサークルは2号館の研究棟やこども学科棟、看護学科棟、学生ホールなどを利用している。
- 4) 学生が空き時間で過ごす空間としては、学生ホールや食堂がある。食堂は平成31(2019)年3月にリニューアルし、食事の時間以外でも学生が学修、懇談しやすい環境を整備した。また、7号館と9号館の間に位置するプラザは、学生が歓談、交流するスペースとして活用されている。
- 5) 本学へのアクセスは、JR福山駅よりJR福塩線に乗り換え「神辺駅」で下車してスクールバスに乗る方法（スクールバス運行時間約10分）、JR福塩線「万能倉駅」で下車して歩く方法（徒歩所要時間約15分）、JR福山駅南口から中国バス「中国中央病院方面行」に乗車して大学に隣接する中国中央病院で下車する方法（所要時間約25分）がある。



- 6) 講義室は、3, 4, 7号館の講義棟に16室、看護棟に5室、図書館に2室の計23室を設置している。また、実習室は、2号館・看護棟に10室、こども学科棟に15室（ピアノレッスン室を含む。）の計25室を、ゼミ・演習室は、1・2号館と看護棟に12室を整備している。

平成28年3月には、2号館ゼミ室をアクティブラーニングに相応しい教室に改変し整備し、学生が主体的に自己学修、ディベートやプレゼンテーションが出来るようにするとともに多様な形態に展開できる机・椅子類と電子ホワイトボードを整備した。

- 7) 附属図書館は、令和3年5月1日現在で蔵書数90,925冊、学術雑誌タイトル数522件を保有し、閲覧座席数は200席を用意している。なお4年次生や大学院生には貸出冊数及び期間ともに増やし、学生のニーズに対応するよう設定している。館内には閲覧室の他に、インターネットコーナーや情報検索コーナーなどを配置し、学生の学修環境の整備を行っている。また、館内にラーニングcommons室を2室整備し、学生の自主的な学習やグループ学習を支援する環境を整えている。利用については、学生便覧やホームページなどに記載するとともに、新入生のオリエンテーションなどで指導している。特に、1年次の初年次教育としての「平大入門ゼミ」では学生が実際に図書館に出向き、図書館職員がコンピューターを使用した蔵書検索や論文検索などの方法について説明を行うなど、図書館利用につながるような仕組みを作っている。

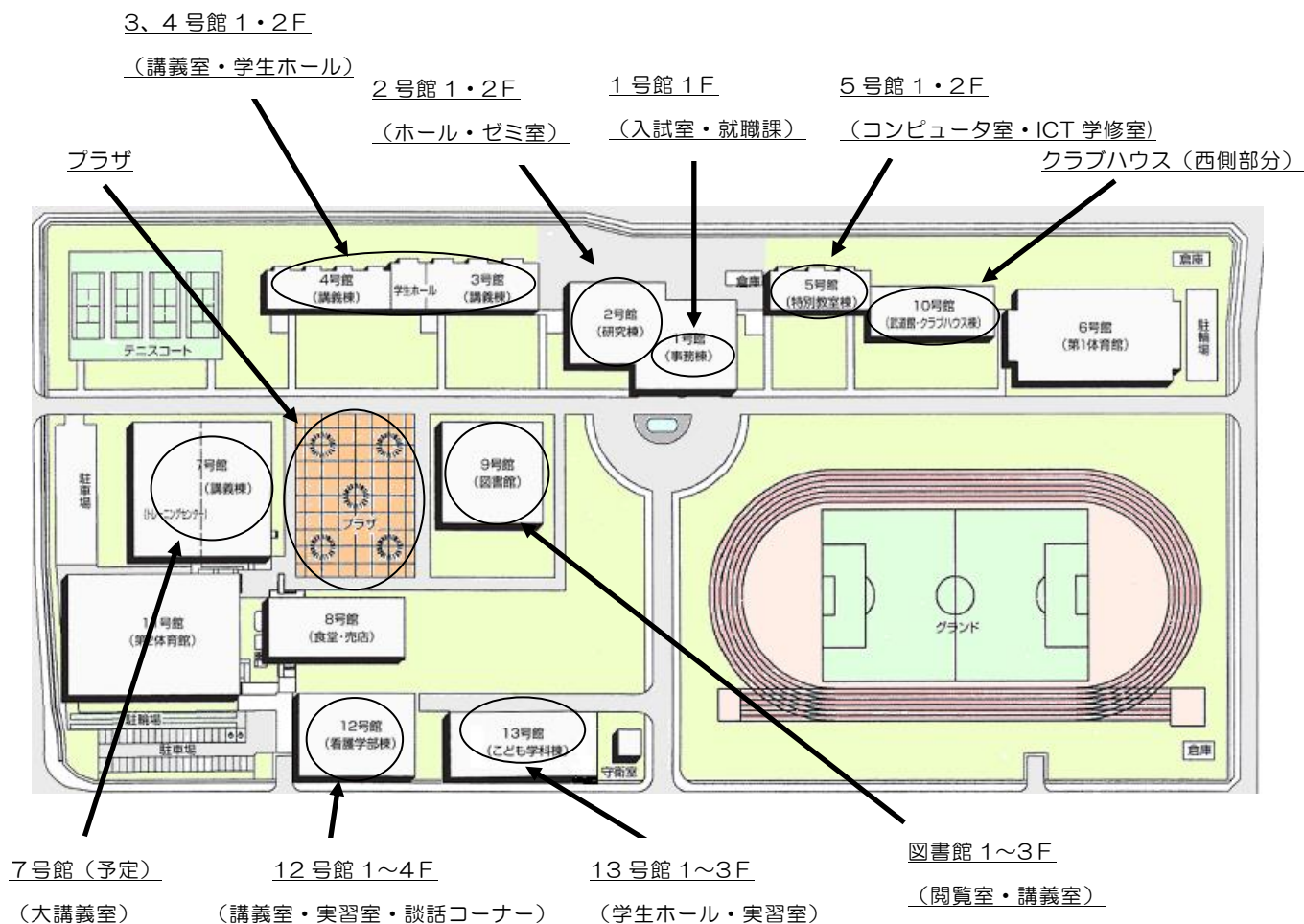
- 8) 情報基盤センターは、教育、研究、大学事務等におけるICT活用の推進を目的として設置され、高度で先端的な情報システム基盤、情報セキュリティ等にかかる施策を行っている。情報基盤センターでは、全学生の情報活用能力の向上を図るために、5号館のコンピュータ室(4室)に75台のパソコンを設置している。授業等に使用される他、学生は授業時間以外に自由に使用することができる。上記コンピュータ室の他に、看護学部棟に58台、図書館閲覧室に検索用パソコン13台が設置されている。

- 9) 学内LANの整備により、すべての建物で有線によるインターネット接続が可能である。また、平成26年度から、学内での無線LAN(Wi-Fi)の利用が可能となっている。

平成29年度の入学生から、これらの環境を積極的に活用して、授業でのICT利用を推進する目的でノートパソコンの必携化に取り組んでいる。これに伴い無線ネットワーク設備等の整備・拡充を行っている。また、ノートパソコンの利用に適した設備・機器などを考慮し、2室のコンピュータ室の改修を行い、ICT学修室として再整備した。

学内無線LANの使用可能エリアを次図に示す。

無線LAN使用可能エリア



10) 平成21年度及び平成22年度に、「履修指導システム」、「教職履修カルテシステム」及び「就職支援システム」を、学生の「学業成績データ」や「進路希望データ」に基づいてきめ細かい履修・就学指導と就職支援を行うことを目的に「学生支援総合システム」に改変した。さらに、看護学部において開発された看護実践能力到達度評価システムを加えて、学生支援総合システムとして平成23年度から「ゼルコバ」の愛称で本格運用を開始している。ゼルコバはポータルサイトシステムとなっており、ユーザー(学生及び教職員)は履修支援、就職支援等のシステムだけでなく、掲示板、メッセージ転送、スケジュール管理、ファイル管理等の機能も使用できる。なお、ゼルコバは、平成30年度から新しい機能に対応した新システムに移行している。このゼルコバの管理・運用、ユーザーの使用は、すべてwebブラウザを使用してwebベースで行われる。学生は、学内無線LANシステム(Wi-Fi)を使用して、学内からアクセス可能になっている。また、学外からもアクセス可能で

あるので、履修登録、履修確認、成績確認等、自宅からでも使用できる環境を整えている。

平成 27 年度から、web 活用とモバイル機器利用に親和性の高い「学修支援システム」(LMS: Learning Management System) として「セレッソ」を追加導入した。授業では、ノートパソコンやスマートフォン等による出席管理、小テスト、レポート提出等に活用され、学生ポートフォリオも作成できる。また、自宅学習にも利用でき、アクティブラーニングの作業環境のひとつにもなっている。平成 30 年度からは、セレッソに対応した「簿記」、「IT パスポート」、「TOEIC」、「SPI」等の e ラーニング教材を導入し、資格取得、就職活動等の支援に活用している。平成 28 年度からは、学生、教職員向けに Office 365 Pro Plus などのマイクロソフトの Office 製品や関連するクラウドサービスが利用できる「Office 365」を整備した。

本学の学生・教職員は、Office365 ポータルサイトへサインインすることにより、Office365 ProPlus などの Office 製品や関連するクラウドサービスを利用できる。

(情報システムの整備状況は以下の通り)

■ 学生ポータルシステム Zelkova (ゼルコバ)



学生支援総合システム (学生ポータルシステム) として Zelkova (ゼルコバ) を整備している。教務、学生生活、進路・就職など、平大生に必要な情報を幅広く提供するポータルシステムである。

■ 学修支援システム Cerezo (セレッソ)



学修支援システムとして Cerezo (セレッソ) を整備している。大学での授業や自宅での予習・復習など、学修を総合的に支援するシステムである。出席の確認、教材の配布、お知らせの掲示、レポートの提出、小テストの実施、質問の受付・回答などを行う。さらに、入学前教育にも Cerezo を活用している。

平成 30 年度から、セレッソに対応した e ラーニング教材を導入した。

■ マイクロソフトの Office 製品・関連クラウドサービス Office 365



学修・教育環境の整備、学生サービスの向上などを図る目的で、マイクロソフトと教育機関向けソフトウェアライセンス総合契約を締結している。
学生・教職員は、Office365 ポータルサイトへサインインすることにより、Office 365 などのマイクロソフトの Office 製品や関連するクラウドサービスを無償で利用できる。

<施設設備の維持・運営>

- 1) 本学の施設設備の全般的な管理運営は、事務局（管理＝庶務課、運営＝学生課）が担当している。本学の敷地は、校舎、グラウンド、通路以外は全面芝生が敷き詰められ、桜と樺並木、クスノキやバラの花壇もがあり、また、校舎は低層で校舎間の空間も広いので、ゆったりとした快適な環境で、学生が学習やクラブ活動に専念できるようになっている。
- 2) 各講義室・トイレは毎日清掃し、清潔感を保持しており、女子学生から喜ばれている。また、女子学生が半数以上になったので、学園内を明るくするために夜間照明の整備も進めている。
- 3) 建物は建築基準法の規定により、毎年 1 回、構造、防火等建築設備に関して現状調査を行っており、上水、下水の水質検査や昇降機も法令にのっとり、定期的に点検調査を実施している。また、平成 25 年度には障害学生のために、8 号館にエレベーターの設置などバリアフリー化も進めている。
- 4) グラウンド(休憩施設含む)、テニスコート、体育館・武道館、トレーニング室等体育施設は、体育施設運営委員会が学生課と連携しながら管理運営に当たっている。それら施設の使用心得は、学生便覧に記載し、周知徹底を図っている。
- 5) 附属図書館については、利用の手引き・心得を学生便覧に記載するとともに、新入生には、毎年初年次教育科目「平大入門ゼミ」の授業の中で利用方法などを詳しく説明している。
- 6) 情報サービス施設の維持運営には、コンピュータ準備室を設置し、大学教育センターの助教・助手を常駐させることで、機器の適切な操作や管理を行うとともに、必要に応じて順次新型機器への更新を進めている。